

## 災害 非日常が続いた

ハイキング委員会 田中 康男（ふわくHC）

9月台風15号の強風で、房総の山では風倒木がたくさん発生しているが、町内行事やボランティアで数日とられ、中々見に行く事が出来ない。（私 町会役員です）

落ち着いてきたなーと思ったら次の台風19号、恐怖体験からタクシーで事前避難した人たちもいたが、町内はたいした事こともなく緊張が取れてホッと笑えた。

しかし次は大雨、（大雨の次の日は 喜寿の同級会に富山県に移動）またまた数日がんばる。（ボランティアで持った濡れた畳 重かったー）

被災された方、お見舞い申し上げます。

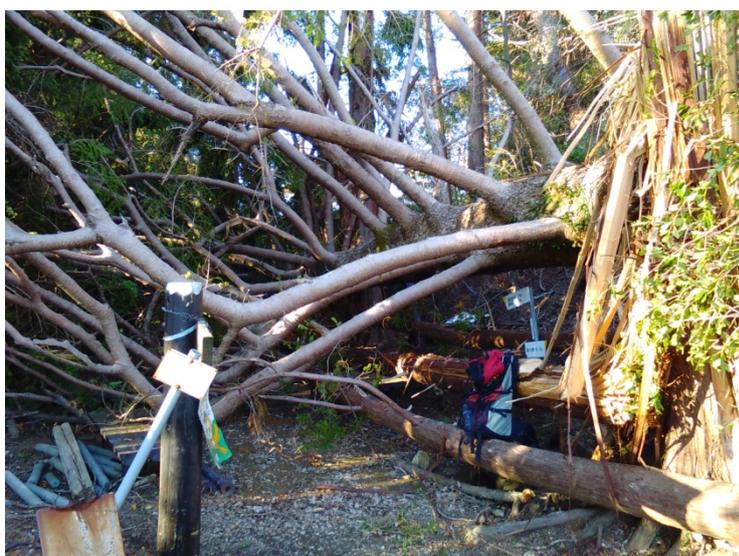
台風15号 風災直後の鋸山「車力道」までの倒木伐採に、延べ2時間作業の他は房総の山に入ることができなかったが、ようやく5人でロングハイキングコースを下見、それほど荒れてなく安堵。

なんだーと、メジャーな「奥畑から高宕山」に行ってみると、倒木・沢の崩落で応急道普請、2日目ようやく頂上に立てた。（呆然とした思いの中で 新鮮だった）

たくさんの方が登山を楽しみにしている山なので、道普請に通った。気がついてみると手頃な長さのトラロープが店頭から消えていて、他の所に準備していた、じゃまだったトラロープ20m×3本が役に立った。（約70mかけた）

寒い時期の房総の山での会の山行が、すべて見直しになり。急遽、道に落ちている「杉の小枝」の清掃をかねて高宕山に行くことになる。又、災害状況を知らせてほしいとの要望があり、ふだんは具体的には言わずに行う道普請を、写真を撮りにいって紹介したのが11月。

呆然とすることには、みんなで騒ぐと助けになり、社会復帰 ならぬ 房総の山復帰。



「奥畑から高宕山」八郎塚への分岐 モミの倒木